

「構造工学論文集」最終原稿作成、シンポジウム等、留意事項

土木学会・構造工学論文集編集小委員会

1. 修正原稿に基づき、掲載可と判定された場合は「最終原稿」を提出いただきます。

- 1) 「構造工学論文集投稿要領」記載の執筆要領、体裁に関する規則を厳守して下さい。
 - a) 編集小委員会から指示された場合を除き、原稿の修正は体裁に関するものに限ります。
 - b) 原稿の見本は初回および修正原稿用と同じものになります。ページ番号、行番号を削除し、修正原稿作成時に赤字にした箇所を黒字に戻して最終原稿を作成ください。
※ページ番号、行番号の削除方法については、別紙をご参照ください。
 - c) 連絡著者のメールアドレスを原稿体裁に従って1ページ目左下に記入して下さい。
(書き方は、所定の体裁、チェックシートでよくご確認下さい。連絡著者などの表記を個人名に置き換えないで下さい。)
 - d) 受理日欄は、(2026年2月3日受理)として下さい。
 - e) 英文タイトルおよび英文著者名の表記の仕方に誤りが大変多くなっています。原稿の見本を参考にして、必ずフォーマットを守るようにして下さい。J-STAGEへの掲載の関係上、必ず、ご確認下さい。
 - f) 形式不備があった場合には、その時点で返却する権利を当編集小委員会は持ります。
- 2) 最終原稿のPDFファイル(A4サイズ)を投稿者用Webより提出下さい。
 - a) 提出頂きましたPDFファイルはそのまま論文集(J-STAGE)に掲載されます。著者の責任で細心の注意を払い、提出前にはPDFファイルの質をご自身で十分にご確認下さい。
 - b) PDFファイルの作成は、土木学会論文集におけるPDFファイルの作成方法(<http://committees.jsce.or.jp/jjsce/ptebiki>)に準じて下さい。査読対応のためにページ数とファイルサイズが14ページおよび10MBを超過することは認められます。カラーの図表を入れて頂くことも可能です。
 - c) フォントが全て埋め込まれているか、プリンタで印刷した際に文字化けや図表の画質に問題がないか等、ご確認下さい。
 - d) セキュリティーの設定は絶対に行わないで下さい。添付ファイルも付けないようにして下さい。
- 3) 最終原稿の他にチェックシート(投稿原稿用および修正原稿用とは異なります。構造工学論文集編集小委員会のホームページから最終原稿用チェックシートを入手ください。)も投稿者用Webよりご提出下さい。チェックシートにおけるチェック内容と原稿の実際に不整合がある場合は返却することがあります。

提出期限: **2026年2月3日(火)17:00**

締切後、ただちに論文集の製作に入りますので厳守して下さい。提出期限に遅れた場合は、掲載否とすることがあります。

問い合わせ先: 土木学会構造工学委員会構造工学論文集編集小委員会幹事長

・ 摂南大学 理工学部 准教授 田井政行

〒160-0004 東京都新宿区四谷1丁目 外濠公園内

E-mail: struct-eng@ml.jsce.jp

2. 登載料は下記の通りです。

ページ数に依らず 55,000 円

なお、登載料の請求書は連絡先宛に送付します。請求書の送付時期は2026年3月頃を予定しています。

3. 登載された論文は第72回構造工学シンポジウムで必ず発表して頂きます。日程は以下の通りです。プログラムは、2026年3月上旬までに構造工学論文集編集小委員会のホームページ(<http://www.jsce.or.jp/committee/struct/journal/index.html>)に掲載される予定です。また、土木学会誌2026年3月号会告に開催案内を掲載する予定です。

開催期日：2026年4月11日（土）、12日（日）

開催場所：宇都宮大学陽東キャンパス

※日本建築学会からも、本論文集の姉妹誌として建築部門を対象とした構造工学論文集Vol.72Bが刊行され、同日同会場（並行セッション）にてシンポジウムが開催されます。建築部門に関する詳細は建築雑誌（日本建築学会）の会告に掲載されます。

※構造工学論文集Vol.66Aからは、論文集（CD）は発刊せずに、J-STAGEにシンポジウム前に無料公開することになりました。従いまして、論文集（CD）の販売は致しませんので、予めご了承下さい。